

沖縄の方言を調べる

琉球方言／琉球諸語／しまくとぅば とは

一口に「しまくとぅば」と言っても、離島県である沖縄県には多様な方言があります。「琉球諸語」という表現もあるように、各方言間には意思疎通に困難を生じるほどに差異がみられ、それぞれに特徴を持っています。

沖縄県は、生活環境の変化や高齢化により、方言を日常的に使用する場面が少なくなったことで、話者の数が急速に減少していることを踏まえ、平成18年3月31日に9月18日を「しまくとぅばの日」として制定し（条例第35号）、沖縄方言の保全と継承を図る取り組みを行ってきています。しかしながら、平成21年にはユネスコから「八重山方言」「与那国方言」が「重大な危機」として、「奄美方言」「国頭方言」「沖縄方言」「宮古方言」が「危険」として消滅危機にある言語として指摘されており、その存続が危ぶまれています。

1. 概説・総論

- 『沖縄語辞典』国立国語研究所編、大蔵省印刷局、1963 【K80/KO49】
「IV 首里方言の文法」
- 『沖縄大百科事典 中巻』沖縄大百科事典刊行事務局 編、沖縄タイムス社、1983 【K03/O52】
「首里方言の音韻・文法・語彙」上村幸雄・津覇古敏子
- 『沖縄大百科事典 下巻』沖縄大百科事典刊行事務局 編、沖縄タイムス社、1983 【K03/O52】
「琉球方言の助詞・助動詞」野原三義
「琉球方言の代名詞」中本正智
「琉球方言の動詞」野原三義
- 『日本列島の言語 言語学大事典セレクション』亀井考・河野六郎・千野栄一編、三省堂、1997 【K80/N77】
「琉球列島の言語（奄美方言）〔文法〕」須山名保子
「琉球列島の言語（沖縄北部方言）〔文法〕」島袋幸子
「琉球列島の言語（沖縄南部方言）〔文法〕」津覇古敏子
「琉球列島の言語（宮古方言）〔文法〕」狩俣繁久
「琉球列島の言語（八重山方言）〔文法〕」狩俣繁久
「琉球列島の言語（与那国方言）〔文法〕」高橋俊三
- 『フィールドと文献からみる日琉諸語の系統と歴史』林由華・衣畑智秀・木部暢子編、開拓社、2021 【K/80/F27】

2. 辞典、語彙集

全域

- 『図説琉球語辞典』中本正智 編著、力富書房、1981 【K80/N36】
- 『琉球語辞典 那覇・首里を中心とする沖縄広域語準拠』半田一郎編著、大学書林、1999 【K80/H29】
- 『琉球方言辞典』中松竹雄著、那覇出版、1987 【K80/N35】

奄美語（奄美大島・喜界島・徳之島・沖永良部島・与論島）

- 『奄美方言分類辞典』（上下巻）長田須磨編、笠間書院、1997 【K86/O72】
『与論方言辞典』菊千代著、武蔵野書院、2002 【K86/I23】
『いらぶぬくとゥば方言単語集沖永良部島』永吉敏人著、トモエ、2005 【K80/N25】

沖縄語（沖縄本島北部/国頭方言）

- 『沖縄今帰仁方言辞典』仲宗根政善編、角川書店、1983 【K81/N42】
『沖縄伊江島方言辞典』（本文・索引編）生塩睦子著、伊江村教育委員会、1999 【K81/O77】
『伊是名島方言辞典』伊是名島方言辞典編集委員会編、伊是名村教育委員会、2004 【K81/KI23】
『名護市史本編 10 言語やんばるの言語』名護市史編さん委員会編、名護市役所、2006 【K21/N26】

沖縄語（沖縄本島中南部および周辺離島）

- 『いふあくとうば沖縄県石川市伊波方言集』伊波信光著、石川市教育委員会、1993 【K82/I76】
『浦添・小湾方言辞典』
法政大学沖縄文化研究所小湾字誌調査委員会、浦添市小湾字誌編集委員会、1995 【K82/H91】
『沖縄語辞典』国立国語研究所編、大蔵省印刷局、1963 【K80/KO49】
『アラカキクトゥバ』宜野座嗣郎著、宜野座嗣郎、1996 【K83/G46】
『しまくとうば辞典 久米島町字儀間』波平 憲一郎著、波平憲一郎、2004 【K83/N47】
『西原町史第8巻 資料編西原の言語』
西原町史編集委員会編、西原町教育委員会、2010 【K22/N82】

宮古語（宮古島・池間島・大神島・伊良部島・多良間島）

- 『宮古群島語辞典』下地一秋、下地米子、1979 【K84/SH51】
『宮古スマフツ辞典』与那覇ユヌス、城辺町、2003 【K84/Y82】
『城辺町スマフツ辞典』城辺町スマフツ研究会編、城辺町教育委員会、2003 【K84/G96】
『ニコライ・A・ネフスキー 宮古方言ノート』（上・下）平良市教育委員会、2005 【K84/H62】
『沖縄県宮古のことば』中松竹雄著、沖縄言語文化研究所、2006 【K81/N35】
『宮古伊良部方言辞典』富浜貞吉、沖縄タイムス、2013 【K/84/MI76】
『南琉球・宮古語 池間方言辞典 西原地区版』
仲真 博之ほか、国立国語研究所言語変異研究領域、2024 【K/84/Mi37】

八重山語（石垣島・竹富島・小浜島・新城島・波照間島・西表島・鳩間島・黒島）

- 『石垣方言辞典』（本文編・文法索引編）宮城信勇、沖縄タイムス社、2003 【K85/MI73】
『竹富方言辞典』前新透、南山舎、2011 【K85/TA66】
『鳩間方言辞典』加治工真市、国立国語研究所言語変異研究領域、2020 【K/85/Ka22】

与那国語

- 『与那国ことば辞典』池間苗著、池間苗、1998 【K85/I33】
『どうなんむぬい辞典』与那国方言辞典編集委員会編、与那国町教育委員会、2021 【K/85/Y82】

その他

- 『琉球の方言』1~47号（2025年3月現在）、法政大学沖縄文化研究所 【K/80/H91/1~47】
『日本語訳 英琉辞書』B.J. ベッテルハイム、伊波和正ほか訳、武蔵野書院、2017 【K/80/B39】

4. インターネット情報

大琉球語辞典 <https://ryukyu-lang.lab.u-ryukyu.ac.jp/>

『沖縄今帰仁方言辞典』『沖縄語辞典』『奄美方言分類辞典』『与論方言辞典』『沖縄伊江島方言辞典』『宮古伊良部方言辞典』を音源とともに収録したデータベース。各辞書の横断検索、琉→和・和→琉での検索が可能



WEB アーカイブ ウチナー民話のへや <https://okimu.jp/museum/minwa/>

沖縄県立博物館・美術館が運営するデジタルアーカイブのひとつ。県内各地の民話を方言音声で収録。地域別・五十音別のほか、キーワードでも検索が可能



#使ってみようナビ しまくとうば <https://shimakutuba.jp/>

しまくとうば普及センターのウェブサイト。しまくとうば関連イベントの告知や、図書・ラジオ番組の紹介、またダウンロードできる学習教材などにアクセスできる



沖縄県立図書館「沖縄を知るための10冊」シマクトゥバ (狩俣繁久・選)

https://opl.okinawan-migration.com/books_okinawa/gengo-001/

